

# とかち帯広の未来を考える

うえ の

# 上野ようすけのレポート



編集発行  
上野ようすけ連合後援会

帯広市西12条南17丁目3  
難波ビル2階  
☎ (0155) 24-2540番  
FAX (0155) 21-3185番

vol. 1

info@uenoyosuke.net http://www.uenoyosuke.net/

## 「ようすけ通信」改め、「上野ようすけの鳥の目虫の目レポート」

### 発刊のごあいさつ

上野庸介

平成28年も早いもので半分が過ぎました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、このたび、私の後援会通信であり4号まで発行しておりました「ようすけ通信」を「上野ようすけの鳥の目虫の目レポート」と改めさせていただきます。この「鳥の目虫の目レポート」は、ご存知の方もしらっしゃるかと思いますが、昨年まで私の父が後援会通信で使用していた名称です。28年間、計26回発行された「鳥の目虫の目レポート」は、私としても非常に親しみがありますので、今後、私が「鳥

の目虫の目レポート」の名称を受け継がせていただきます。父のように隔月発行とはいかないかもしれませんが、改めましてよろしくお願いたします。

そもそもこのタイトル「鳥の目虫の目レポート」は、高いところから全体像を把握する「鳥の目」、ある物事に対して細かくかつ複眼的に(様々な視点で)分析・判断する「虫の目」の二つの目を持つて十勝・帯広を考えていこうという意味があります(この二つの目に「魚の目」、つまり、潮の流れ(物事の

変化)を見極める目も大切だとする考え方もあるようです)。

私は現在、生業である幼稚園・保育園業を通じ、一市民として、この十勝・帯広の未来を考える日々ですが、今後はより一層、「鳥の目虫の目レポート」の意味するところを十分に意識して、皆様と意見を交わさせていただきたいと考えております。

「上野ようすけの鳥の目虫の目レポート」での発信がその一つのきっかけとなれば幸いです。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

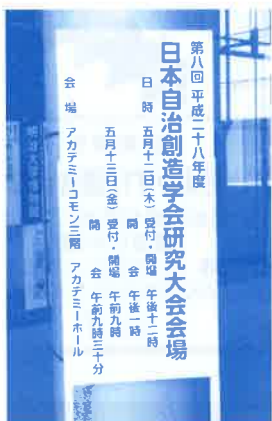
レポート vol.1

# 日本自治創造学会研究大会に参加しました

## ●穂坂邦夫先生との思い出

5月12日、13日、私は東京で行われました「日本自治創造学会研究大会」に参加しました。参加者は全国の地方議員、行政マン、そして私のような地方議員を目指したもののそれが叶わなかった方で、総勢500名ほど。

この会を主宰する穂坂邦夫先生は、埼玉県志木市の元・市長さんです。穂坂先生が「改革派市長」として仕事をされていた時代、書籍編集者であった私は一冊の企画をご提案し、本を書いて頂いたことがあります。そのタイトルは「教育委員会廃止論」。2005



はるか昔におよ1994年埼玉県志木市、埼玉会館講演  
大会「自治創造学」にて講演。元市長、現志木市長、議員を経て、志木市長に就任。埼玉県議員、埼玉県議会議員、2001年7月志木市  
方自治創造学研究会代表理事、10年活動。2009年9月NPO法人  
自治創造学研究会設立。2010年10月、地方自治研究センター  
学術委員。著書「教育委員会廃止論」(自治創造学研究会発行)  
自治創造学研究会代表理事、2010年10月、地方自治研究センター  
学術委員。著書「教育委員会廃止論」(自治創造学研究会発行)

年刊行ですので、もう10年以上も前なのですが、当時としてはかなり刺激的なタイトル。「重版出来！」とはなりませんでしたが、多くの行政関係者にお読みいただいたことを思い出しつつ、今回の穂坂先生のプロフィールにもしっかりとこのタイトルが書かれているのを見て、懐かしくもうれしくなった次第です。

## ●変化のわねっつ?

さて、研究大会は、ボリューム

| 第8回 日本自治創造学会 研究大会 プログラム                     |   |
|---|---|
| ■ 第1日目 5月12日(木)                             | ■ 第2日目 5月13日(金)                             |
| 10:00-10:30 開会式                             | 10:00-10:30 開会式                             |
| 10:30-12:00 講演 地方自治の発展 - 地方自治の発展と地方自治体の役割 - | 10:30-12:00 講演 地方自治の発展 - 地方自治の発展と地方自治体の役割 - |
| 12:00-13:00 昼食                              | 12:00-13:00 昼食                              |
| 13:00-14:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             | 13:00-14:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             |
| 14:00-15:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             | 14:00-15:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             |
| 15:00-16:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             | 15:00-16:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             |
| 16:00-17:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             | 16:00-17:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             |
| 17:00-18:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             | 17:00-18:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             |
| 18:00-19:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             | 18:00-19:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             |
| 19:00-20:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             | 19:00-20:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             |
| 20:00-21:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             | 20:00-21:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             |
| 21:00-22:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             | 21:00-22:00 講演 地方自治の発展と地方自治体の役割             |

満点、分野も多岐にわたるものでした。

中でも、村木厚子・元厚生労働省事務次官の講演は保育・医療・介護という各地域が抱える共通課題を「人口減少」という大前提をしっかりと踏まえた上での内容でした。私自身にとっては昨年一番力を入れて訴えた分野ですので、大変興味深く拝聴致しました。

厚生労働省の仕事は社会保障制度であり、健康保険や年金等その大部分は全国一律の取り扱いが求められます。そのせいもあってか、厚生労働に関する政策の多くは

(私の印象としては)、全国一律的な取り扱いとなる傾向が強いと感じています。

その省庁のご出身、しかもつい先ごろまで事務方のトップでいらっしゃった方の講演タイトルが、「福祉でまちおこしを」国と連携する保育・医療・介護の取組み」であったのは、こうした福祉行政でさえも地方の独自性が必要となってきた証のような気がしてなりませんでした。

## ●地方を作り育てるのは、やはり地方である

保育・医療・介護も基本的には全国共通の部分が必要です。しかし、全国の多種多様な地域にそれぞれ特徴ある課題が存在する時代ですから、全国一律の対応策では問題解決できない地域がでてきてしまいます。したがって、その地域が自らの課題を理解し、それに対して独自性ある解決策を取り組むことが重要なのではないのでしょうか。国はその地域の取り組みをあくまでも「連携対象」として支える、取り組みやすいような制度を

作る、そうすることで、それがひいては地方の特色を作り出し、地域の強みになります。

では、地域を理解し、地域に合った独自性ある取り組みを描くのは誰でしょうか。私はそれが地方行政であり、地方議会の仕事だと思っております。もちろん、中には、行政ではなく、民間レベル、市民レベルでの意欲的な取り組みも数多くあります。それらの取り組みがさらに大きな「地域の力」になるような仕組みを作ったり、あるいは

レポート  
vol.2

## 帯広・十勝の観光力の高め方

「北海道観光を考えるみんなの会」という会があります。2年ほど前におしえて頂いて、以来、個人会員となっています。5月26日、この会の会合がありました。

道内の観光関係者の方々を中心に大勢の参加者があり、参議院選挙が差し迫った時期であったため、立候補予定者からのスピーチもありました。

会場が札幌だからなのか、話題

は活動の継続性が保てるよう支えたりすることも、その「地方の政治」がすべきこと、そんな思いを講演後に持ちました。

さて、今、皆さんの地域の議会、政治は、そうした役割を果たせているのでしょうか？

私は一市民ではありますが、このような視点を持って行政や議会に対して意識を持ち続け、この「鳥の目虫の目レポート」でみなさんに問いかけたいと思います。

の中心は北海道新幹線、新千歳空港の発着枠拡大など道央中心。十勝に住む私としては、この内容が北海道観光の全てのように語られてしまうのは、十勝にとって決してプラスにはならないと、感じざるを得ませんでした。

昨年選挙で、私は、十勝が有する道内で唯一無二の特徴であるモール温泉を軸に観光を組み立てるべき

・その手本は同じモール温泉を持つドイツのバーデンバーデンにある

・バーデンバーデンはヨーロッパ屈指の温泉保養地である。

・バーデンバーデンはガーデンが有名（十勝にもガーデンがある）

・バーデンバーデンはワインが有名（十勝には十勝ワインがある）

・バーデンバーデンは競馬が有名（十勝にはばんえい競馬がある）

など、いくつかの共通点がある以上、ここを参考にした観光策を取るべきと訴えました。

今、アジアからの観光客を中心に北海道を訪れる観光客は増えていることは事実です。しかし、国内あるいは外国からの観光客に北海道の中でも「十勝」を選んで頂くには、十勝でしか味わえない旅をわかりやすく示す必要があると考えています。

そういう意味では、ヨーロッパ屈指の保養地と同じような体験を味わえるのはモール温泉が有する十勝だけである、とわかりやすく発信し、まずはモール温泉の価値を高めるべきではないでしょうか。



「北海道観光を考えるみんなの会 冊子より」

北海道の各地も十勝と同様、観光客の心をつかむのに必死です。これまでの観光資源に加え、IR（統合リゾート）を検討する自治体もあります。

どこの地域も頑張っている状況の中で、十勝の魅力に観光客が気づき、十勝の大地に一步踏み入れて頂くためには、十勝だけしか発信できない観光をアピールするしかない、その一例がバーデンバーデンではないかとずっと考え続けています。

十勝の観光力をどう高めるか、みなさんはいかがお考えでしょうか？

## 第29回 ナイスタウン杯 パークゴルフ大会開催のお知らせ



**と き** 平成28年9月25日(日)  
午前9時より受付、午前9時半スタート

**場 所** パークゴルフ：緑ヶ丘公園パークゴルフ場  
表彰式・懇親会：グリーンステージ

**参加費** 1000円（当日お支払いください）  
**懇親会のみ参加も大歓迎です（午後12時開始予定）**

**申込み方法** 同封の申込用紙にご記入いただき、  
FAX等でお送りください。

**主 催** 上野ようすけ連合後援会

〒080-0022 帯広市西12条南17丁目3 難波ビル  
TEL 0155-24-2540 FAX 0155-21-3185



## 上野ようすけの『鳥の目、虫の目レポート』発刊を 皆さままでお支え頂けませんか？

### ～カンパのお願い～

皆さまにおかれましては、昨年統一地方選挙以来、上野ようすけ君の政治活動に大きなご支援をいただきまして、心より感謝しております。

さて、上野ようすけ君も今回の「鳥の目虫の目レポート」の発刊をきっかけに動き始めました。上野ようすけ君の政治活動を後援会としてもしっかりと支えてまいりたいと思います。

皆さまにもぜひとも上野ようすけ君の活動をお支えいただきたく、甚だ恐縮ではございますが、活動資金のカンパをお願いする次第でございます。ご賛同頂けます方は、同封の郵便振替用紙をお使い下さい（1口1000円、2口以上からお願いできますと幸いです）。

なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成28年7月

上野ようすけ連合後援会  
会長 益子 裕之